

この標準書式のサンプルを使用する際は、このサンプルの文字に上書きすると、フォントなどの情報がそのまま引き継がれ、標準書式 of 原稿が作成できます。

表題 (例: に関する研究)

著者所属学校名 氏名(学年) 氏名(学年) 氏名(学年) 氏名(学年) 氏名(学年)

表題はゴシック体

はじめに

表題について、調査・研究・観察などをしようと考えた動機・目的・意義などを簡明に記述する。また、中間報告であれば、その旨も記述する。一般に、全文の1割程度の文章量とするのが適当。

著者の氏名などは明朝体

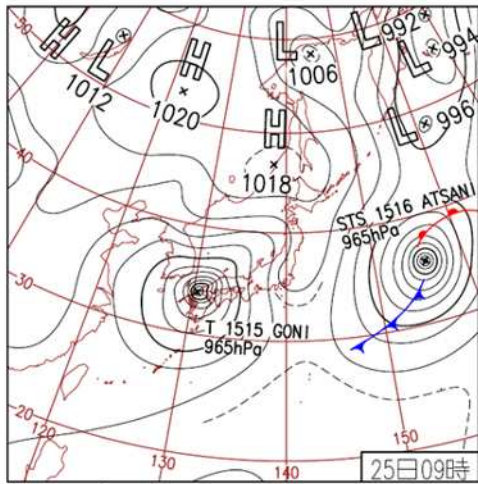
見出しはゴシック体

研究等の方法

どういうところに注目し、どのようにして調査・研究・観察などを行ったか、また、用いた資料、機器等についても記述する。全文の3割程度の文章量とするのが適当。図表や写真を掲載してもよい。

本文は明朝体

表の説明は上に



8月25日の地上天気図

2015年の月別台風接近数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2015					2		3	4	4			1	14

図・写真の説明は下に

結果・考察など

得られた成果を、よく整理して記述する。また、判明した問題点や要改善事項などがあれば記述する。図表や写真を掲載してもよい。

おわりに(まとめなど)

総合的な結論、今後の課題や研究姿勢、謝辞などを記述する。全文の1割程度の文章量とするのが適当。